

水俣病とむきあつた労働者

大阪展 シンポジウム 11/29(日) 14:00~16:00

大阪人権博物館 リバティール

講師：原田 正純（熊本学園大学教授・水俣学研究センター長）

山下 善寛（元新日本窒素労働組合委員長）

コーディネーター：花田昌宣（熊本学園大学教授・水俣学研究センター事務局長）

原田正純（熊本学園大学社会福祉学部教授・水俣学研究センター長）

1964（昭和39）年、熊本大学大学院医学研究科修了、医学博士。熊本大学精神神経科講師、熊本大学体質医学研究所助教授を経て1999（平成11）年より熊本学園大学社会福祉学部教授。1960（昭和35）年より水俣病、胎児性水俣病研究に取り組み、現在も継続している。その他三池一酸化炭素中毒、土呂久砒素中毒、カネミ油症など社会的医学的研究を行い、ベトナムの枯葉剤の影響や中国・インド・タイなどの砒素中毒、カナダ・ブラジル・中国・アメリカなどの水銀汚染など世界各地を調査。著書に『水俣病』（岩波書店、1972年）、『水俣への回帰』（日本評論社、2007年）『水俣学講義第4集』（日本評論社、2008年）など多数。

山下善寛（元新日本窒素労働組合委員長・水俣学研究センター客員研究員）

1940（昭和15）年朝鮮咸鏡南道州江南邑九竜里生まれ。県立水俣高校卒業。1956（昭和31）年新日本窒素水俣工場に入社、1960（昭和35）年からは、会社内で水銀分析に従事した。1962（昭和37）年安定賃金闘争、1969（昭和44）年には会社から自宅待機を命じられる。1970年から労働組合執行委員、1978（昭和53）年から1990（平成2）年まで執行委員長を務める。2000（平成12）年9月定年退職。2003年から企業組合エコネットみなまた理事長。また、1968（昭和43）年水俣病対策市民会議の会員となり、1969（昭和44）年から水俣病裁判（第一次訴訟）・自主交渉など水俣病闘争を支援し、現在も、水俣病支援を続けている。2009年4月より「水俣の暮らしを守る・みんなの会」事務局長。

花田昌宣（熊本学園大学社会福祉学部教授・水俣学研究センター事務局長）

1986-93年フランスの三つの大学で教員・研究者生活を送り、1994年熊本学園大学社会福祉学部教授となり、現在大学院社会福祉学研究科長。日仏経済学会理事、社会福祉法人「くまもと障害者労働センター」理事長、障害者労働研究会座長、熊本県部落解放研究会会長なども務めている。主な業績として、「公的機関における知的障害者雇用」『発達障害白書』2006年版、「日本における社会的経済の可能性と現実性」『生活経済政策』111号2006年、『水俣学研究序説』（原田正純と共編著）藤原書店 2004年、『水俣学講義第4集』日本評論社2008年など多数。

主催：熊本学園大学水俣学研究センター



The Open Research Center for Minamata Studies in Kumamoto Gakuen University



共催：法政大学大原社会問題研究所



Ohara Institute for Social Research in Hosei University



リバティおおさか大阪人権博物館

Osaka Human Rights Museum

新日本窒素労働組合60年の軌跡